

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 3 日

評価対象事業		評価者	みどり公園課長	秋山 崇
都景-21	街路樹維持管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	みどり公園課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	街路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。
効果	まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う予算執行抑制のため、花苗の配布は取り止めた。
 ・街路樹の維持管理を委託した。
 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う予算執行抑制のため、令和2年度に執行を取りやめた協働事業負担金について、地元町内会と協定を締結し事業執行した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度		達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(実績値/目標値)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	街路樹愛護会等支援事業	街路樹愛護会報償費、協働事業負担金	-	- / - 1,333 / 1,650	- 1,715	-		
02	大船駅東口花壇維持管理事業	大船駅東口花壇維持管理委託料	-	- / - 1044 / 1045	- 1,108	-		
03	街路樹維持管理事業	街路樹維持管理委託料	高木がある路線のうち、 剪定を行う路線数	23 / 17 19,486 / 24,266	17 31,938	135.3%		
04				/				
05				/				
06				/				
07				/				
08				/				
09				/				
10				/				
		財源 内訳	国県支出金	/				
			地方債	/				
			その他特定財源	/				
			一般財源	21863 / 26,961	34,761			
			事業費の合計(千円)	21,863 / 26,961	34,761			
		人件費(千円)		8,237	8,336			

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.0	1.0	1.0			
会計年度任用職員	0.0	0.5	0.5			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	街路樹愛護会等支援事業	-	-	-
02	大船駅東口花壇維持管理事業	-	-	-
03	街路樹維持管理事業	街路樹の適正な維持管理の目安として、高木(概ね樹高が3.5m以上)がある路線(51路線)の枝の剪定路線数を指標とする。(2~3年に1回の割合で剪定予定のため、年度目標は17路線/年)	街路樹の適正な維持管理を行うことで安全で快適な生活が送れるまちの実現に寄与している。	植栽から30年以上が経過する街路樹もあることから、舗装や通行に支障をきたしているものについては、剪定等の日常管理だけでは対応が困難な場合も多くなっている。
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 街路樹愛護会

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整えるため、引き続き市民と協働しながら適切な維持管理に努めていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	高木がある路線のうち、剪定を行う路線数						単位	路線
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
街路樹の適正な維持管理の目安として、高木の枝の剪定路線数を指標とする。	目標値	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	
	実績値	18.0	23					
	達成率	105.9%	135.3%					

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--